



JOB STA 通信

ジョブスタ vol.2



「働く」ことを考える。

10月13日(木)に「ジョブスタート事業(ジョブスタ)ワークショップA」の2回目が砂川市役所で開催され、砂川高校生徒会から12名、地元企業から14事業所22名の若手従業員の参加がありました。

前回に引き続き、講師として、北海道医療大学看護福祉学部准教授の長谷川聡先生とジョブカフェ北海道にお越しいただき、社会人と高校生が「働く」ことについて語り合いました。初任給の使い道や就職活動の思い出、仕事のやりがいなどのテーマをもとに、社会人が経験や思い出を語り、生徒は其中で疑問に思ったことや感想を配布されたカードに記入をしながら、各々の思いを語りました。

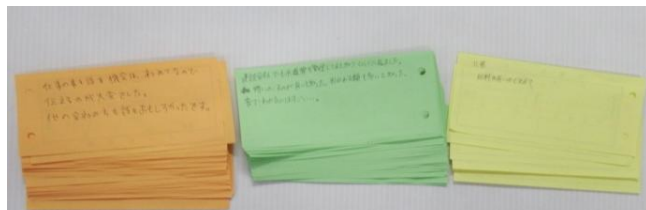
まだ働いていない高校生にとって、年の近い社会人からの、失敗談や仕事の厳しさを聞き、働くことを身近に感じたようです。

社会人の皆さんも、生徒や他業種の方々に自分の仕事や、やりがいを伝える中で、「働く」ことの意味を見直す機会となり、お互いに刺激を受けていました。



生徒たちの質問（黄色のカード）

- ・めぐり会った仕事を一生続けたいと思いますか？
- ・仲間がいるからこそ頑張れること。
- ・最初はやはり辛いですか？



語り合いの中で感じた多くの「気づき」を各カードに記入してもらいました！

生徒たちの気づき（緑色のカード）

- ・やりがいとはやってから分かるもので、最初は分らない。
- ・それぞれでやりがいを感じる場面は違うけど、そのやりがいを求めて仕事をしている姿がかっこいいと思った。
- ・給料の使い道は、色んな使い方があるんだなと思いました。
- ・自分のやりたい事を出来ると後悔も無く仕事をできるとわかりました。
- ・達成感があると良いなと思った。
- ・少しのミスで全部が無駄になるのが驚きです。仕事って大切だなと思いました。
- ・進路は早めに決めておいた方が良かった。
- ・「あいさつ」が大事。あいさつで人付き合いができるんだと思った。
- ・同期は大事だなと思った。

全体の感想（オレンジ色のカード）

- ・色々な業種の方のお話を聞いて楽しかった。高校生が自分の考えを持って素晴らしい。
- ・前回に比べて話しやすかった。社会人は話が盛り上がるが、学生はまだ堅い感じがする。
- ・高校生のみんなが何をしたいのかを聞いたので、もっと話を聞いて教えてあげたい。
- ・お話しした高校生は進路、自分の進みたい道がありました。好きなことがあるといざというとき頑張れるので、応援しています。他の仕事内容も知れて楽しかったです。
- ・普段接する機会のない企業の方々と交流を図ることのできる良い場だった。あまり参考になる話は出来なかったが、少しでも高校生の進路の参考になったら嬉しい。
- ・他の社会人の話を聞いて、良い時間となりました。もう少し話が聞ける時間があっても良いくらいでした。
- ・高校生が不安に思っていることが過去に自分も思っていたことと同じで懐かしい気持ちになった。
- ・皆さんじっくり考えてくださり、ためになることも多く楽しかったです。就職はまだ先ですが心の奥底に今日の事をしっかりと残したいと思います。
- ・1回目よりもしゃべる機会が多くて大変でした。普段の仕事では会話が少ないので少し楽しめました。
- ・仕事の事を話す機会は初めてなので、伝えるのが大変でした。他の会社の方の話も面白かったです。
- ・とても楽しかったです。最初は緊張したけど最後には楽しかった。いい経験になったと思える場で良かったです。また、前を向いて行けそうです。

次回、会場が変更になります。

次回のワークショップの会場が砂川市役所大会議室から
砂川市公民館4階大会議室（砂川市西8条北3丁目1-1）
に変更になります。※市役所の西側です。

日時については、11月9日（水）14：00～で変更
ありません。間違えの無いようお越しく下さい。

今回は2月に開催される「ジョブスタ in 砂川高校」の
内容を協議します。

